

モニターレポート（1月報告）

【報告内容①】

1月中旬頃の大雪で、堤防上には除雪された雪が山積みかと思ったのですが、雨と日差しで雪は少なく、車の通行もスムーズでした。また除雪作業の影響で、路面が傷んだり、道路脇のポールも倒れているかと思いましたが、その様なこともなく、除雪車の技量の高さに感心しました。

私が走った当日は、曇りで雪は降っていませんでしたが、吹雪の堤防上を車で走ると怖そうです。吹雪の時などでも、安全に通行ができるといいですね。

【事務所からのコメント】

今冬は暖冬傾向かと思っていたところに大雪が降りました。短時間でかなりの降雪があったため、道路管理者は昼夜を問わず懸命な除雪作業を行い、道路交通が確保されたことに頭が下がる思いです。

阿賀野川の堤防道路では、毎年転落事故が発生しており、今回の大雪でもあちこちで車が転落しているとの河川巡視報告がありました。

特に圧雪時はハンドルがとられやすくなったり、吹雪になると道路と堤防の境目が分からなくなったりしますので、気をつけて運転して頂きたいと思います。

【報告内容②】

阿賀野川の右岸を車で走って見たところ、下里地先と長戸呂地先で河川工事が行われていました。工事車両が多いために道路状況が悪化して事故が発生するようなことがないように願います。

冬の間、河川公園は積雪などもあり、殆ど利用されていない状況でした。むしろ雪捨て場として利用され、一般の車が入りづらい所もありました。

1月10日に才の神（どんと焼き）が各町内で行われました。子供も少なくなり、継続していくことが大変というお話でした。市からの補助があれば良いと思います。

【事務所からのコメント】

ご報告頂いたとおり、下里地先と長戸呂地先では河川工事を行っていますが、冬期間の工事であることから、安全対策を十分に行い、事故等のないよう気をつけて参ります。

河川公園については、冬期間は積雪や寒さが厳しく、ほとんど一般利用されないため、新潟市や阿賀野市では雪捨て場として一時的な占用許可を得て利用しています。

今は積雪のため公園管理者も維持管理ができないようですが、春になると安全に利用できるよう補修などが始まります。

どの地域においても子供の数が少なくなり、どんと焼きなどの古い伝統行事が少なくなりつつあります。季節の移ろいを楽しめる伝統行事が、今後も引き継がれていくことを祈っています。

モニターレポート（1月報告）

【報告内容③】

阿賀野市分田地区の土手下で、ライフルを持ったオレンジ色のベストを着た男の人がいました。野鳥の会とかでしょうか。一般人から見たら怖かったです。

今年は暖冬と思われたところに、全国的にも一気に雪が降りました。雪国新潟では当たり前の光景ですが、大変な思いをしました。

【事務所からのコメント】

冬期は狩猟のシーズンでもあります。阿賀野川は銃猟が認められている区間が多いためか、狩猟目的の方を見かけるようになります。ルールを守り、安全にお願いしたいです。

1月中旬には一気に大雪となりましたが、その積雪もだいぶ消えてきました。春はもうそこまで来ていますね。

【報告内容④】

雪が降り寒くなり、河川公園の利用者も見かけなくなりました。

河川管理は自然と関わりの深い仕事ですので、その季節に応じて仕事内容も変わると思いますが、こういった雪の降る冬の河川管理と、夏の河川管理とでは、どのような違いがありますか。

【事務所からのコメント】

冬期は降雪もあり、人々が河川と関わる機会は少なくなりますが、パトロールをはじめ、安心・安全を確保するための対策は、1年を通じ行っています。

阿賀野川は、6月1日から9月30日までの間が「出水期」となっており、この時期には1年の中でも降水量が多いので、洪水には十分な注意が必要となっています。

春先は「出水期」ではありませんが、雪融け水による出水もありますので、堤防に損傷がないかパトロールを行っております。この時期には、除雪や雪による通行車両の事故で堤防が傷んだり、冬眠明けの小動物が堤防に穴を掘ってしまうこともあるからです。